

12月補正の主な事業

12月定例会は、12月13日から15日までの3日間の会期で開催されました。棚倉町の観光の振興と町民福祉の向上を図ることを目的に「棚倉町八槻観光拠点施設設置条例」ほか議案11件。一般会計・特別会計並びに上水道事業会計の補正予算関係などの議案6件。計17議案を原案どおり可決しました。

■ 道路維持費



傷んだ町道舗装を修繕工事をするための補正増 **450万円**

■ 文化センター費

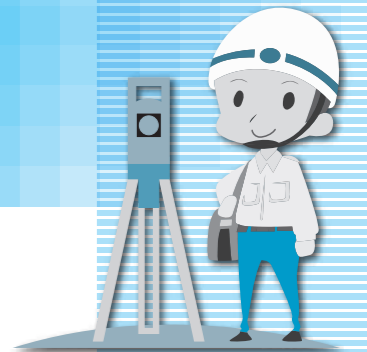


老朽化した文化センタートイレ等を改修するための補正増 **1,030万円**

■ 地方創生事業費



地方創生拠点整備事業(八槻家住宅改修工事費)による3,152万円を増額し、繰越明許費と併せて、**8,252万円**の事業となった



補正予算の主な質疑内容

《一般会計》

○歴史文化基本構想策定事業費247万円の減について、この事業は完了したということの減額となるのか。

国の採択が減額になったことによるもの。

○文化センター費の工事請負について、今後の文化センターについては、工事箇所が増える傾向にあるかと思うが、今後の改修計画は考えているのか。

今後、大規模な改修については現在検討中だが、その他の緊急であるもの、金額的にできるものについては、随時行っていく予定である。

○教育振興費 学力向上支援事業費の236万円の減額理由は。

タブレットやモニター等のICT機器を導入することでの当初予算であったが、今回、5年のリースで契約したところ、今年度は3ヶ月分の支払いで済むことになったため減額した。

《介護保険特別会計》

○施設介護サービス給付費3,355万円の減額について

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの施設サービス費となるが、昨年までは要介護5の方が多かったが、今年には要介護3、要介護4の方が多く入所されているため。



陳情

◎「教育予算確保並びに

施設等の充実に

提出者 棚倉町立学校PTA連絡協議会

人権擁護委員候補者の推薦



全会一致で同意された
薄葉 義博 氏

「議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」
 についての反対討論が行われました。

反対討論 (鈴木政夫議員)

人事院の勧告に準じて議会議員の期末手当を引き上げるとの説明があった。その内容は民間の企業の水準と比較して決めたとのことだが、どのような企業と比較したのか。平成28年に当町議員に支払われた議員報酬は354万円であり、一方、町民の中には年収300万円以下の方が7千人いるというのが実態である。

我々議会議員は、いついかなる場合でも自分の為ではなく、町民、そして町全体の立場に立って活動するのが我々の与えられた使命であると信じております。よってこの議案に反対の立場を表明します。

なお、職員の給与の引き上げについては、職員の皆さんが町民全体の奉仕者として、その能力を大いに発揮され町民と町に尽くされることを期待し賛成であることを付け加えて討論とします。

採決結果

反対者 (3名)

藤田 光子
古市 泰久
鈴木 政夫

賛成者 (9名)

蛭田 卓雄
菊池 忠二
和知 裕喜
佐藤 喜一
近藤 正光
須藤 俊一
佐川 裕一
藤田 智之
和知 良則



議案の討論

議長不信任 否決

和知良則議員より、「松本英一議長不信任について」の動議が提出されました。

【賛成議員】 近藤正光議員
須藤俊一議員

動議の説明

和知 良則 議員

平成29年10月12日第3回東白衛生組合議会定例会が開催され、本組合の議長となつている松本英一議長は、当日無届のままこの定例会を欠席し、会議に大きく支障を来しました。東白衛生組合議会規則第2条には、議員は事故のため出席できない時はその理由を付け、当日の会議時刻までに議長に届けなければならぬとされており、なかでも議長は、会議の活動を主催し、議会構成上欠くことのできない重要な地位にあります。

東白衛生組合議員は棚倉町住民の皆さんにとつても、身近で重要な政策決定の機能と、監視・評価の機能を果たすのが議会であり、棚倉町議会からは松本議長を含め4名の議員が棚倉町議会代表として選出されております。つまり、棚倉町の皆様から選出された棚倉町議会議員の代表は、棚倉町住民全体の代表者でもあ

り、議長が棚倉町議会以外なら何をやっても良いという理屈は、棚倉町議会にも当然棚倉町住民にも通用するものではありません。町民の代表としてそれらをただすが議会として当然の姿であります。

また、11月13日の棚倉町議会全員協議会の中で、私より松本英一議長に東白衛生組合議会定例会での無届欠席を質したところ、松本議長は無届欠席はしてはいないとの嘘の答弁を致しました。

その後、松本議長は、無届欠席の件について、衛生組合に確認し次回の全員協議会で説明をされると言われたが、12月8日に開催された全員協議会の中では説明はなく、未だに説明がない。松本議長は無届欠席に加え、これらの嘘の発言をするなど、議長としての品位・品格が大きく欠如している表れであります。

よって、松本英一議長の良識と判断において、直ちに議長を辞するよう求め、松本英一議長の不信任を提出します。

この不信任がよもや否決にでもなれば、議員としての誤った行動を認められたことになり、住民からの議会に対する信頼も失墜するものと懸念します。

議員各位の良識ある判断を信じ、説明を終わります。

本人弁明

東白衛生組合の会議に欠席はしておりますが無断ということではありません。数十分か時間ははっきりわかりませんが、電話で連絡をしました。それは受理されています。急用であったので電話で。従いまして無断ではありません。

【反対討論】 鈴木 政夫 議員

松本議長が一身上の理由により、組合議会に出席できなかったことで不信任動議が提出されましたが、本人の弁明にあるように、本人は無断欠席ではないと弁明がありました。また、東白衛生組合議会としては副議長が議長を代行し議事を進行し何の支障もありませんでした。

したがって、棚倉町議会から選出されている議長と言えども東白衛生組合の議会において何ら支障もなかったということであるので、私は今回の不信任に反対の立場を表明します。

【賛成討論】 佐藤 喜一 議員

東白衛生組合議会の問題について棚倉町議会とは関係ないと言われている議員もいますが、当日は棚倉町議会からも選出された議員が出席し管理者に対して多くの質問をされて

動議賛成議員 (5人)

和知 良則
須藤 俊一
近藤 正光
佐藤 喜一
藤田 光子

動議反対議員 (6人)

鈴木 政夫
藤田 智之
佐川 裕一
古市 泰久
和知 裕喜
菊池 忠二



※松本議長は退席し、蛭田副議長が議長に代わって採決を取った。

町政を問う

12月定例会では6人の議員が登壇し質疑を行いました。今回は、それぞれの分野で、多岐にわたり質問がされました。次のページからは、要点をまとめて掲載してあります。



1 古市泰久 議員 …… 7ページ

1. 小学生のスクールバス運行は
2. 高齢者の交通弱者に対する公共交通対策は
3. 景観条例の制定は
4. おたふく風邪予防接種の無料化は

2 佐川裕一 議員 …… 8ページ

1. 町の森林事業と、木質バイオマス事業の可能性は
2. 消防水利の充実は
3. 修明高校統廃合への対応は
4. 児童生徒のアレルギー対策は

3 藤田智之 議員 …… 9ページ

1. 棚倉幼稚園の駐車場の確保は
2. 高校生への就学支援は
3. 人口減少時代への対応策は
4. 非正規の職員の待遇改善は

4 鈴木政夫 議員 …… 10ページ

1. 棚高跡地の利用計画は
2. ふくしま森林再生事業は
3. 企業誘致活動は
4. 町道法面の草刈は

5 藤田光子 議員 …… 11ページ

1. 放課後児童クラブのあり方は
2. 旧棚倉高校跡地へ未来に役立つ
研究所設立を考えては
3. 棚倉駅周辺の整備についての考えは

6 菊池忠二 議員 …… 12ページ

1. ふくしま駅伝に参加した棚倉チームの今後は
2. 町の管理するスポーツ施設に関する料金は
3. 町が管理する公衆トイレは
4. 自治体向けのクラウドファンディングの活用は

問 スクールバス運行の検討結果は 答 児童の送迎は独自の対策を検討する



高野小学校の送迎風景

問 平成27年9月定例会で、スクールバス運行については全町的に検討するとの答弁であったが、

教育長 通学距離、通学手段等を調査し、引き続き検討していく。

問 現況の運行は極めて不公平感がある。見直しを实行する考えはあるのか。

教育長 現在の運行実態は、高野地区小・中学生、幼稚園児、山岡地区幼稚園児が対象である。

子ども教育課長 分校の統廃合の際の約束で3キロ程度の距離でも運行している状況である。

問 運行基準4キロ以上を超える地区でスクールバスを対応していない地域はあるのか。

町長 双ノ平、上手沢地区において該当地があると把握している。

問 これでは、運行規程を自ら破っていることになるが、教育委員会はこのことを承知しているのか。

子ども教育課長 距離の観点では、確かに不公平感はあると考えている。今後、独自の検討となる。

問 前回の質問の時から検討すると答弁しているが、遠距離通学路には歩道の無い箇所もある。他の地区ではタクシー対応のところもある。教育委員会としての方針は。

教育長 今のところ、そういった結論が出ていない。できるだけ早くとしか言いようがない。

町長 今までの施策の中で足りない部分があったことは大いに認める。スクールバスの問題については早急に考えていきたい。

問 高齢者の交通弱者の交通対策は
答 利用者の利便性を考慮し平成30年度より運行に向け検討

問 実施内容の形態と時期は。

町長 巡回バス、デマンド交通、タクシー利用料金助成など検討し、平成30年7月から実施できるように進めている。

問 国の助成措置が不採択だったから実証実験無しで実施することのことであったが、町長として財源を確保するための努力が欠けているのでは。

町長 昨年度、国の方針変更で広域的な実施が採択要件となったため申請ができなかったことにつ

いて、私の努力が足りなかったということであれば、そういう意味では足りなかったのかもしれない。今後とも可能な限り努力する。



ふるくわし やすひさ 古市 泰久

問 景観条例の制定の意向はあるか
答 歴史まちづくり法に基づき、歴史的風致維持向上計画と一体的に検討していく

問 景観形成上、重要な条例ではないか。
町長 歴史的背景と共に考える。

問 おたふく風邪予防接種の無料化の意向があるか
答 一回に限り3千円を助成している。無料化は考えていない。



ふくしま森林再生事業面積増加で、一層の森林整備が期待される

問 森林事業、バイオマス事業は 答 事業の推進を図っていく

問 森林整備計画の具体的内容は。

町長 平成28年度から平成37年度までの期間で計画しており、森林の立木伐採や造林に関する森林の整備、間伐の林齢や保育の標準的な方法、森林保護の推進等が計画されている。

問 ふくしま森林再生事業内容は。
町長 森林整備面積の大幅な増加を要望している。

問 バイオマス事業の進捗状況は。

町長 本町にある木質ペレット製造工場に過日職員を派遣し、工場視察やバイオマス発電、ペレット等の研修をさせた。今後更に調査研究をし、事業の推進を図っていく。

問 消防水利の充実は
答 自然水利が活用できない地区を優先的に整備

問 消防水利の足りないところは。

町長 合計383区画に区分して、未整備区画数が129区画となっており、整備率で66.3%。

問 今後の整備計画は。

町長 消火栓や防火水槽の消防水利が整備されていない地区で、かつ、自然水利が活用できない地区を優先的に整備していく。

問 修明高校統廃合への対応は

答 学校と一緒に、連携できるものは取り組んでいきたい

問 数年先を見据えた政策を考えていくべきでは。

教育長 町としても学校と一緒に連携できるものは取り組んでいきたいと考えている。

問 町で今後考えていることは。

教育長 現時点ですぐに統廃合の対象になるとは考えていない。これまで修明高校とは、チャレキッズや町の文化祭など、住民のかかわりでは、修明笑店やブルーベリージャムの開発など交流連携がなされている。今後とも、今回の新学科の設置を契機に修明高校の魅力や特色を生かすためにも、小中学校との連携をはじめ、住民との交流等について、学校と一緒に検討をしてみたい。

問 児童生徒のアレルギー対策は

答 町内の全園児、小中学生を対象に「食物アレルギー調査」を実施。予期せぬ場面で起きたアレルギー症状に対しても教職員誰もが適切な対応がとれるよう教職員間で情報共有



町との連携が深まることが望まれる修明高校



さ かわ ゆう いち
佐川 裕一

問 棚倉幼稚園の駐車場の確保は 答 通用口を設けて隣地に確保したい



早期に拡張整備が待たれる幼稚園の駐車場

問 3歳児保育の開始により、駐車場の不足が予想されるが対策は。通用口を設けて、役場の駐車場を活用してはどうか。

教育長 園舎の増築もあり園児の登校時には駐車スペースの不足を感じている。園庭の一部に通用口を設けての対策は、隣接地の地権者と協議調整を進めている段階である。

問 いつ頃どのような形での整備を考えているのか。
子ども教育課長 地権者から用地を借りる内諾を得ており、隣地

に20台程度のスペースを確保したい。法的な手続きもあるが、来年度には整備したい。

問 高校生への就学支援は

答 国や県の制度の利用を

問 高校進学が事実上の義務教育となっている現状の中、入学時や通学の費用が大きな負担となっている。費用の認識と近隣町村の取り組みは。町としての支援は、できないか。

教育長 県南では、矢祭町が年間2万円、鮫川村で年間12万円の高校生への支援を行っている。棚倉町としての支援は考えていない。県の作成した冊子では、高校卒業時まで公立高校で約107万円、私立高校で約245万円がかかる。高校生への就学支援は、授業料においては国が、低所得世帯等につ

いては県が、支援する制度がある。
問 高校生への支援は考えていないのか。
子ども教育課長 市町村の役割は基本的に中学生まで。高校生は県の制度も充実しているのでこちらを利用してほしい。

問 人口減少は避けられるか
答 避けられないが歯止めはかけた



月約1万9千円かかる白河市への通学

問 人口減少とそれに伴う様々な変化により将来を見据えたビジョン、計画の策定や検討が必要な時期に来ているが、取り組みは。

町長 人口減少は避けて通れない事象だが、町が掲げる各施策を遂行し人口減少に歯止めをかけていきたい。

問 15年後、20年後、25年後、避けて通れない未来を想定しての対策も必要ではないか。

町長 対策は考えなくてはならないが、地域性など全体的に考慮しなければならぬ。記載の仕方なども考えなくてはならない。

問 若手職員に取り組ませるはどうか
地域創生課長 他での例を参考にしたい。

問 非正規の職員の待遇改善は

答 会計年度任用職員制度に合わせて検討整備していきたい。



ふ じ た と も き
藤田 智之

問 棚高跡地利用計画はなぜ進まないのか 答 建物撤去と県営施設の計画を要望

問 6月定例会で質問した棚高跡地の利用計画について、町としての利用計画はないが、早急に利用計画を検討し、振興計画で決めていきたいと答弁があった。しかしその後、振興計画には記載されておらず、現在どのような検討がなされているのか答弁を求める。

町長 棚高跡地は県所有の資産であり、建物の取り壊しと県営施設の活用用地として計画できるように要望していきたい。



整備が待たれる町内の森林

問 ふくしま森林再生事業は、平成30年度は120haを計画したい

答 平成30年度は120haを計画したい

問 ふくしま森林再生事業は、これまで年間30haの事業であったが、振興計画によれば、30年度は120haを計画し実施するとされている。実施地区の選定、実業者への協力依頼など、どの様になるのか見解を求める。

町長 計画は平成30年度に120haの同意取得と森林整備の測量設計業務を実施し、平成31年度には120haの森林整備と、新たに120haの同意取得等の業務を実施し、平成32年度には120haの森林整備を行う協議をしている。実施地区の選定は、これまでの方針を基本にし、町独自の基本方針を定め選定する。業者への協力依頼は町がこれまで各種業務を委託し、入札に参加した業者の方々にお願いする準備を進めている。

問 企業誘致活動の積極的な取り組みは

答 棚倉町企業誘致ガイド等を活用し推進したい

問 町はオーダーメイド方式により企業誘致活動を行っているが、企業誘致ガイドを作成したなかで、候補地が6箇所挙げられている。この地域における道路や下水道のインフラ整備を町として対

応できるのか。

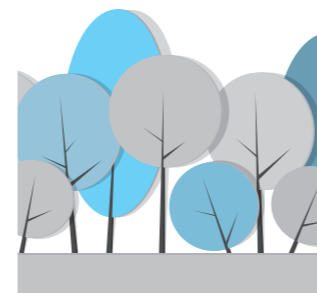
町長 敷地は全地区とも国町道に面しており、下水道については流地区以外は合併浄化槽での対応になるものと見込んでいます。

問 町は、あくまでもオーダーメイド方式にこだわるのか。

町長 県内では工場団地で完全に成功した例は聞いていない。

問 町道法面の草刈は町の責任ではないのか

答 地域の協力を得ながら必要な場所は町が対応する



鈴木 政夫

問 放課後児童クラブのあり方は 答 健全な育成活動を行っている

問 各学校の受け入れ基準の制限等の決め方は

教育長 保護者の就労状況等を確認し決定している。また、受け入れるための教室の確保や指導員についても、登録人数や施設の状態に応じて学校と情報交換を行っている。

問 放課後児童クラブとして確立した教室を確保し、年毎に移動させることの無いようにすべきでは。

子ども教育課長 学校との協議の中でも毎年変わらない部屋でという方向でお願いしている。

問 途中利用希望者が出た場合の対処は。

子ども教育課長 今年度は待機児童が出たが、来年度においては反省を踏まえて申し込み状況に対応して進めていきたい。途中利用希望者についても定員の問題もあるが、できるだけ可能な対応をしていく。

問 棚高跡地へ研究所施設を考へては

答 跡地利用の一案として受け止めたい

問 当町には多数の糖尿病患者がいる。その中でも人工透析患者数は約60名を越えようとしている。今一番町民のために有効な跡地利用として糖尿病に対する予防ラボラトリー（研究室・実験室・製作室）の誘致を考へてはどうか。地域医療構想支援策に国が力を入れていくからこそ良い機会であると思うが。

町長 糖尿病に対する予防ラボラトリーの誘致については、跡地利用の一つの案として受け止めたことと考えている。

問 認知症初期集中支援事業に伴う研究所対策事業への投資として、全ての市町村に支援策が国策として出されることを踏まえ、当町として早々に調査し名乗



どうなる棚高跡地？

りをあげてはどうか。

町長 郡内4町村合同で認知症初期集中支援チームを設置し、早期診断、早期対応に向けた体制整備をしたいところだが、研究所事業への支援策については、現在のところ国からの情報が示されていないため考えていない。

問 棚倉駅周辺の整備は

答 JR東日本水戸支社とは話し合いをしているが計画は未定

問 閑散としている棚倉駅周辺について、地元商店街を主軸に、町商工会、JR水郡線、JRバス、町が協力し合って整備計画をする考へはあるのか。

町長 町民からの意見や要望等も含めJR東日本水戸支社とは話し合いをしているところだが、現在のところ具体的計画は持っていない。



藤田 光子

問 ふくしま駅伝選手へ今後の支援策は 答 より一層の連携強化を図る



今年も健闘し完走した柵倉駅伝チーム

提唱する役場職員のスニーカー通勤を実施してはどうか。

教育長 助成金は120万円を執行委員会に補助しており十分と考えている、スニーカー通勤は名称ファン＋ウォークプロジェクトで歩く習慣定着とスポーツ人口の拡大と健康増進を目的に国民運動の推進であり今後の動向を注視していく。

来ないか。

生涯学習課長 かなりの費用がかかるが、更新時期等、随時調査研究をしながら町振興計画に計上していく。

問 観光主体の町づくり
に公衆トイレは重要であるが

答 今後の改修、増設については交付金を活用した八槻都々古別神社脇のトイレを含めた施設以外の予定はない

問 現在町が管理しているトイレは何ヶ所でのような管理をしているのか。

町長 14ヶ所で管理は主にシルバー人材センターに委託している。

問 馬場都々古別神社のトイレ整備の予定はあるか。

町長 必要なので今後有利な財

源の確保ができれば整備できよう検討していく。

問 磐城柵倉駅のトイレ改修は。
町長 JR水戸支社に要望したところ対象が1日2500人の乗降客が必要条件で磐城柵倉駅は現在約200人で難しい。

問 図書館のトイレ利用、運用の仕方は。
町長 月曜以外は開いているのでトイレだけ利用も可能。

問 自治体向けのクラウドファンディング運用の予定は

答 目的に共感した不特定多数の方から資金を調達出来れば行政課題解消に向けて有効な手段であると考え

問 我が柵倉町の名誉とプライドをかけて走るその姿に感謝と敬意を表するし、31位は立派だと思いが、更に上位を狙うためにヒアリングは行ったか。またその施策は。
教育長 ヒアリングは行っていないが選手とのコンディショニング大会関係各位の更なる連携強化が重要。

問 使用料を無料にする事はできないまでも経済的な設備にして更に使用料を下げっていく努力は出

答 主に体育館や総合グラウンドの使用料設定の基準は。又料金がスポーツ振興の妨げになっていないか近隣町村を参考に町条例に基づいて定めているし施行規則により使用料の減免等の措置を講じている

《厚生文教常任委員会所管事務調査報告》 委員長 和知裕喜

事件名／介護の現状と課題について

研修先／寿恵園・なごみ・グループホーム上志宝台・ほたるの里・健康福祉課

【各施設共通】

各施設において丁寧な説明、案内を受け理解を進めることが出来た。介護職員の不足がこの施設においても今後の課題である。その理由として基本給や介護報酬が低い、職種に魅力を感じられない等が挙げられた。施設としての課題は介護職員の確保、職員の資質向上、利用者の認知症のレベルの違いによる弊害や介護職員不足による施設閉鎖の懸念等についても説明を受け共通の認識が共有できた。2050年問題を踏まえて高齢化問題は深刻さを増している状況を認識していると感じた。

施設の設備は新旧あったが、人が人を大切に接する姿勢はどこも同じであることに安堵した。入所判定の詳細や制度の改正、介護を支える雇用の状況なども詳しく説明を受け認識が深まったと思う。今回研修した議員のみならず研修した成果を全議員で共有できる様な取り組みも検討すべきである。



それぞれの施設において説明を受け、施設の見学を行いながら、改善点や問題点などの話しを頂きました。入所者の方々とも話しができて有意義な研修となりました。



●担当課との意見交換の感想及び意見

特別養護老人ホームの入所待機は改善されない状況が続いている。今後も続く予想されるが、新たな施設を造ると介護保険料や利用料金等の負担が増すことに理解を頂くのは難しいと感じる。

介護度を遅らせる取り組み（認知症）の対応は厚厚生病院と連携し、健康寿命を伸ばす取り組みは健康診断や数々の健康教室等を行っているが、教室までの交通手段が無い等、今後も更にこれらの事業や交通手段等、予算を含め、町民への地道なPR活動を引き続き実施し健康に対する認識を図っていく事が重要と考える。

寿恵園で受けている県の「やさしさマーク」を町でも取得活用し、要介護者にやさしい街並み等を含め、住み良い町として柵倉町の福祉行政の充実を図る必要性を感じた。



菊池 忠二

各常任委員会・議会運営委員会紹介

任期／平成30年1月1日 から 平成31年12月31日



委員長	佐川裕一
副委員長	和知裕喜
委員	蛭田卓雄
委員	菊池忠二
委員	佐藤喜一
委員	近藤正光
委員	和知良一
委員	松本英一

◆総務課・税務課・地域創生課・出納室・選挙管理委員会及び監査委員に関する事項。他の委員会に属さない事項の調査、付議議案・陳情等の審査

《総務常任委員会》

委員長	和知裕喜
副委員長	藤田智之
委員	蛭田卓雄
委員	藤田光子
委員	佐藤喜一
委員	近藤正光
委員	鈴木政夫

◆健康福祉課・住民課及び教育委員会の分掌に関する事項の調査、付議議案・陳情等の審査

《厚生文教常任委員会》



委員長	古市泰久
副委員長	菊池忠二
委員	須藤俊一
委員	佐川裕一
委員	和知良一
委員	松本英一

◆整備課・上下水道課・産業振興課及び農業委員会の分掌に関する事項の調査、付議議案・陳情等の審査

《建設経済常任委員会》



委員長	鈴木政夫
副委員長	和知裕喜
委員	蛭田卓雄
委員	古市泰久
委員	佐川裕一
委員	藤田智之

◆議会の運営及び議会の会議規則、委員会に関する条例等並びに議長の諮問に関する事項の調査、議案・陳情等の審査、付議議案・陳情等の審査

《議会運営委員会》



東西しらかわ農業協同組合



更なる発展を目指し、新規事業などの取組みなど聞くことができました

みりよく満点ブランドの今後の展開については、肉用牛繁殖モデル農場や、満点パーク、先進的農業モデル「やさしいの家」など充実しており、常に農業のモデルになるような仕掛けがされている。

また、みりよく満点物語棚倉店も年々売り上げを順調に伸ばし、道の駅の様な機能とアンテナショップの役割を十分にこなし快進撃を続けている。

後継者育成については、若い世代に加え、ーターン、Uターンなどを含め、中高年にも狙いを定めて全体的

なポリユームアップに繋げようとしている。

以上、我々の想像以上にバランスよく事業は展開され、改めて心強く思ったところである。行政としても、町独自の補助金事業も視野に入れ、イノシシ対策や遊休地対策などの総合した施策が急務であると感じた。

棚倉町商工会

現在会員数436名の会員数を誇る棚倉町商工会も、廃業などもあり会員数が減少し、店舗及び店舗併用の空き店舗も31件の状況になっている。

後継者問題も含め、商業活性化の観点から更なる支援が急務となっている。独自の融資制度などはそれに活用が行われ、必要に応じて執行されているようである。

空き店舗対策については、今年度予定をしていた調査研究事業が実施できなかったため、引き続き次年度以降も計画されてこの事業には深い関心を持ってあたって頂きたい。更

には商業活性化についても、広くチーム棚倉で目的を絞って活動を展開すべきである。

なお、商工会の皆様より、強く産業団地確保について（企業誘致政策）、更には住宅用地の確保について（宅地分譲施策、強く当局の関与の要請があった。同じく、棚倉町中心市街地へアクセスする道路について大きな決断の要望も受けた。バイパスから直線のアクセス道路も視野に入れるべきであり、未来の町構想も計画し、今、何に投資をすべきか真剣な議論が必要である。



現在、抱えている課題や、棚倉町の将来について沢山の意見が出されました

産業振興課

〔商業〕

棚倉町の空き店舗数は平成27年の調査で31件、これらの活用についてはまだ議論があるがテナントなどの利用や、支援の仕方も含めて今後早急に対策が必要だと感じた。後継者育成事業も棚倉町の特性に合った商工会との協議のもと、対象者の意見も加味した対応が必要に思う。

〔農林業〕

森林再生事業については、広く町内の山林主の理解とPR活動の充実が必要だと思う。更には、山林主などをデータベース化し相続などの促進も喚起し山林事業の活性化につなげるべきだと思う。

公共事業においても、町も積極的に地産地消を促進するべく地元産の木材活用の指導はもとより、民間の工事等にも地元産材を積極的に活用されるよう製材業とも連携し、助成金の活用も検討すべきである。

《建設経済常任委員会所管事務調査報告》

委員長 菊池忠二

棚倉町における商業、農林業の近々の経済情勢について

研修先／JA東西しらかわ農業協同組合・棚倉町商工会・産業振興課



言わせて一言

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

家業を継ぐ以前から議会だよりは拝見させて頂いておりました。様々な問題を町議員はじめ沢山の方々の努力で解決していると感じています。

地元に戻り、多数の団体に所属させて頂きながら、地元の繋がりや強さを感じました。そこで地域を担っていく人材が育っていく。しかし、多くの団体が人員減少傾向で地域活動が困難になる恐れがあり、今後、各団体の人員確保援助と時間のかかることですが、町民の意である町議員の仕事や学びの機会をキャリア教育に取り入れ、若い頃から地元を愛する心を育む機会をつくる環境整備を望みます。

最後に、棚倉町が更にステキな町になるようご期待し、併せて町議員の今後のご活躍をご期待しております。また、このような機会を頂き感謝申し上げます。

鉄炮町にお住まいの
大塚 広さん



城跡にお住まいの
金澤 利昭さん



昨年、福岡県柳川市を観光してきました。柳川市は棚倉藩初代藩主「立花宗茂」の故郷であり、古来からの景観を保存しながら観光客を呼び込んでいます。中でも、「中古住宅観光ツアー」を行い住民誘致に力を入れています。

棚倉城跡には四辺の内堀が健在し、国内でも希少価値のある遺産です。もっと城跡の桜の手入れを行い観光誘致に取り組むべきではないでしょうか。

また、福島県も花嫁対策としての「世話焼き人制度」などがあり、結婚・出産・子育て等に力を入れていますので、当町ももっと若い人が楽しく出会える機会をつくることも大切だと思います。

現在の町の人口は、1万4千人程になりました。これ以上減らさないように企業誘致はもちろんです、棚倉町を明るく綺麗にしなければと思います。



あなたも議会を傍聴しませんか

傍聴の手続きは、役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

3月 定例議会日程 お知らせ(予定)

3月6日(火)	開会・本会議	3月11日(日)	休会
7日(水)	本会議・委員会	12日(月)	特別委員会
8日(木)	一般質問	13日(火)	特別委員会
9日(金)	一般質問	14日(水)	本会議・閉会
10日(土)	休会		

広報編集常任委員会

- 委員長 藤田 智之
- 副委員長 鈴木 政夫
- 委員 古市 泰久
- 委員 須藤 俊一
- 委員 藤田 光子



編集後記

この地方の春の訪れを告げる八槻都々古別神社の御田植祭が2月21日(水)に挙行されます。国の重要文化財に指定されており一見の価値があります。

さて、3月定例会は次

年度予算を審議する重要な議会です。是非、傍聴にお出かけ下さい。お待ちしております。

広報編集常任委員会
委員 古市 泰久